

大阪・関西万博の開催で関西経済はこうなる！

～ 企業を支える公認会計士の役割 ～

新型コロナウイルスの感染拡大は社会経済に大きな影響を与え、その先行きは依然不透明である。一方、デジタル化の加速により、新しいビジネス創出に止まらず、世界のあり方は大きな転換期を迎えている。

データやテクノロジーの適切な活用はどのような未来につながるのか？

2025年開催の大阪・関西万博に向け、企業を支える公認会計士に期待する役割や社会経済はどう変わるべきか、お話しいただきます。

日 時 2022年7月7日（木） 14:00～15:30

実施方法 ZOOMウェビナー

申込方法 下記のお申込みボタンより事前登録願います。「**参加無料**」
※申込後、メールにて当日のZOOM参加情報が届きます。

講 師 宮田 裕章 氏（慶應義塾大学教授）



プロフィール

1978年生まれ 慶應義塾大学 医学部教授

データサイエンスなどの科学を駆使して社会変革に挑戦し、現実をより良くするための貢献を軸に研究活動を行う。専門医制度と連携し 5000 病院が参加する National Clinical Database、LINE と厚生労働省の新型コロナ全国調査など、医学領域以外も含む様々な実践に取り組むと同時に、経団連や世界経済フォーラムと連携して新しい社会ビジョンを描く。

【社会的活動】

2025年 日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー うめきた 2期アドバイザー 厚生労働省 データヘルス改革推進本部アドバイザーボードメンバー新潟県 健康情報管理監神奈川県 Value Co-Creation Officer 国際文化会館 理事

[お申込はこちら](#)